

## 空き家対策について



い い だ よ う じ  
飯田 洋司  
議員

**質問** 空き家問題は、全国的な問題だが、本村での空き家対策と空き家バンクの運用状況は。

**答弁（総務部長）** 公共交通の充実に加え、健康・医療対策の充実や学校教育の充実、また雇用の場の提供などが空き家を増やさないための重要施策である。それに加え、現在進行中の大谷地区計画では、中心市街地を起点とし、公共交通網を形成し、生活の利便性を向上させることも重要となる。また、空き家バンク事業は好評をいただいております。これまでに30件の登録があった。窓口・電話等での

問い合わせ件数も増加傾向にある。

## 上水道対策について

**質問** 老朽化してきている設備の補修工事・更新など、今後の対策は。

**答弁（経済建設部長）** 水道施設の耐用年数は、工種ごとに法定耐用年数があり、建物及び配水池は50年、電気機械設備は15年、管路は40年とな



上水道設備の現場確認

っている。ただし、水道事業所管の厚生労働省健康局水道課が、更新実績を踏まえた実使用年数は、管路60年という一つの基準がある。本村水道管においては、法定耐用年数40年を迎えようとしている管もある。今後、上水道設備の更新は、※アセットマネジメントという国で示されている手法に基づき検討を進める。

## 多機能空撮について

**質問** 技術の進歩で、マルチコプターが手軽に低価格で導入できるようになった。災害・水害・不法投棄・観光・多用途に利用可能である。ぜひ本村独自、または、広域での導入ができないか。

**答弁（総務部長）** マルチコプターの出現で、撮影チャンスが逃すことなく空撮が可能となり、また、低空での撮影ができるため、多様なイメージを具現化で



多用途に利用可能なマルチコプター

きるなどメリットが多い。今後各自治体でも導入が促進されることが予想される。しかし、プライバシーの侵害という点から、注意を払わなければならない。導入に当たっては、まず利用目的をはっきりさせ、各課との協議が必要となる。利用に際しては、本村の中で飛ばすということよりも、ラジコン愛好家クラブ等との協定により、協力を仰ぐべきと考える。

※アセットマネジメントとは  
資産の管理・運用を請け負う  
代行業務のこと